【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2016-135364(P2016-135364A)
【公開日】平成28年7月28日(2016.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2016-045
【出願番号】特願2016-89162(P2016-89162)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月26日(2017.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の演出を行う遊技機であって、
集合して所定形状をなす複数の装飾部と、
前記複数の装飾部の各々を駆動する駆動部と、
を備え、
前記駆動部は、
回転軸の周りを回転する回転部材を介して前記複数の装飾部の各々を、集合する状態から互いに離間する状態に移行するための移行機構と、
回転軸の周りを回転する他の回転部材を介して前記複数の装飾部の各々を、当該回転軸と交差する方向に延びる軸の周りで回転させるための回転機構と、
を有する
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記の目的を達成する本発明は、次のような遊技機として実現される。この遊技機は、所定の演出を行う遊技機（例えば、パチンコ遊技機１００）であって、集合して所定形状をなす複数の装飾部（例えば、反転動作部７１）と、前記複数の装飾部の各々を駆動する駆動部（例えば、反転駆動部７３）と、を備え、前記駆動部は、回転軸の周りを回転する回転部材（伸縮用回転円盤７６５）を介して前記複数の装飾部の各々を、集合する状態から互いに離間する状態に移行するための移行機構（例えば、伸縮機構７３５）と、回転軸の周りを回転する他の回転部材（例えば、第１回転体７５１）を介して前記複数の装飾部の各々を、当該回転軸と交差する方向に延びる軸の周りで回転させるための回転機構（例えば、回転機構７３３）と、を有することを特徴とすることができる。